

久米田寺と中世社会

—地域社会における寺社の役割—

講師：梶田 航平氏（歴史館いずみさの学芸員）

日本の中世において、寺院は宗教施設であるのみならず、庄園の経営者や技術者などといった側面も持ち、様々な役割を果たした。和泉国においては、久米田寺がそうした役割を果たした寺院の一つであるといえる。



同寺にはまとまった史料群が残されているのに加えて、他所にも同寺に関連する史料が残存している。本講座では、そうした豊富な史料を見ることで、当時の和泉国の社会の中で寺社が果たした役割を見ていきたい。

日時：11月29日(土), 13:30～16:00, 参加費無料
場所：八木市民センター(池尻町), 講座室1 (2階)

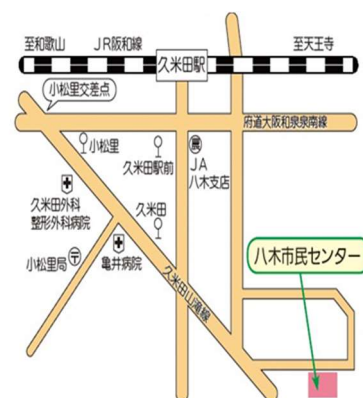
● 定員 80名(申込み先着順)



11月5日(水), 10:00より岸和田市立図書館(本館)で受付。

※電話(072-422-2142)またはQRコードから申し込みください。

* 駐車スペースが少ないため、自動車でのご来場をご遠慮ください。



【主催】 岸和田市図書館友の会・八木地区市民協議会

【協力】 岸和田市立図書館・池尻町町会・久米田寺